

## 人文科学研究科教育学専攻

### 〔教員養成の目標〕

人文科学研究科教育学専攻では、教員養成にかかわる全学的な目標を踏まえ、また特に文学部教育学科教育学コース及び初等教育コースと目標を共有しながら、学部卒レベルにはとどまらない、より高度な実践的指導力を備えた教員を養成していく。

本専攻の研究分野には、教育学と教職研究があり、時代や社会の動きをとらえながら教育の本質とは何かについてじっくり考えることや、人間の心と身体の仕組みおよびその発達について科学的に理解すること、そして現場のニーズと乖離することなく、専門的知識を基盤とした実践的指導力を修得することを目標としている。

教員養成においては、教育学と教育関連諸科学に関する専門的な知識や技能を修得していることに加えて、今日の教育改革動向を含む社会や時代の動きに適切に対応しつつ、各学校現場固有の問題の解決に積極的に寄与することができる有為な人材の育成をめざす。

### 〔当該目標を達成するための計画〕

本専攻では、幼稚園、小学校、中学校社会、高等学校地理歴史及び公民、中学・高等学校保健体育の専修免許状を取得することが可能である。そのために必要な科目を漏れなく整備し、開講を継続するなど、安定的な体制の維持に努めるとともに、各科目の授業内容を教員養成の観点から編成している。

教員免許状を取得していない者でも、在学期間中に文学部開講の科目を履修することで、教育職員免許法に定められた単位を修得すれば、幼・小・中・高教員の教員免許状や特別支援教諭の免許状を取得することができる。

また、カリキュラム外の取組としては、非常勤講師として中学・高校の現場に立ちながら大学院での学びを深めている院生もおり、そのような院生に対しては教員によるサポートを個別に行うとともに、これから教員を目指す院生と共に学ぶ場を設けている。その他、希望する院生に対しては学習支援をはじめとする学校ボランティアの機会を設定・提供するなど、サポートの充実を図っている。

以上の取り組みを進めるに当たっては、FD活動を通じた点検を定期的に行っていく。また、学外の関係機関と連携していくとともに、教職支援室の有効活用を促していく。